

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

・平成 21 年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催	P 1
・平成 21 年度プロジェクト説明会（小杉駅周辺地区）を開催	P 3
・第 21 回技術研究発表会及び第 16 回交流展示会の開催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）	P 4
・第 3 回首都圏都市基盤施設見学会の開催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）	P 5
・機構の活動状況	P 6

§ 平成 21 年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催

恒例により、11月27日（金）15:30～20:00の日時で、調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催いたしました。

当日は約 50 名の賛助会員の方々にご参加頂き、調査研究報告会では当機構が受託しております調査の概要について報告させて頂き、講演会では国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長の清水様から、「まちづくりの最近の話題について」と題してご講演を頂きました。その後、会場を移しての意見交換会では、日頃よりご指導頂いております同省幹部の方々にも多数お集まり頂き、公民によるフリーな意見交換を頂きました。その概要について報告させていただきます。



1. 調査研究報告会

(1) 最初に、当機構専務理事の佐々木から、「平成 20 年度受託調査の概要」および「第 4 回まち交大賞」についてご報告させて頂きました。

①受託調査を内容別に整理してご説明

◇地域再生・交流 ◇地方都市再生 ◇大都市圏再生 ◇土地活用 ◇先導調査を縦軸に、
□課題・構想 □基本計画 □事業計画 □機能導入を横軸にしたマトリクス表により、受託調査を内容別に整理してご説明させて頂きました。



②受託案件一覧表により、個別案件の概要をご紹介

a. 国等

・土地活用バンク・地域不動産情報・まちづくり情報活用・円滑なまちづくり方策

b. 地方公共団体等

・拠点整備（岩見沢駅北地区）・事後評価・地区整備計画（鐘ヶ淵地区）・産業整備（東久留米市）・拠点づくり（村岡・深沢地区）・事業促進（深沢地区）・まちづくり計画（村岡地区）・都心居住（岐阜市）・市場調査（新田地区）・都心整備（豊田市）・不動産国際マーケット（福岡市、大阪市、東京都）・基地跡地利用（沖縄県、宜野湾市）

c. 民間等

・土地活用推進（港区元麻布地区）・都市再生緊急整備地域・ブラウンフィールド基礎調査・特定業務代行者選定（富士見二丁目）

③第4回まちづくり大賞の全体概要および受賞地区（熊本市、甲州市、富山市）の概要をご説明

(2) 次に、主な受託調査から下記3点を選んで、その詳細について、担当職員からご説明させていただきました。

①まちづくり交付金を活用した中心市街地の活性化方策に関する検討調査

及びまちづくり交付金コーディネート事業について 開発調査部部長 稲岡

②土地活用関係調査について

開発調査部課長 森田

- ・土地活用モデル大賞（機構自主事業）
- ・都心居住実現方策調査検討業務（岐阜市）
- ・地方における公的未利用地等再生調査（国土交通省）

③地域不動産情報発信サイトについて

企画調整部部長 久松

ご関心のある案件がございましたら、遠慮なく担当者までご照会ください。

2. 講演会

(1) 清水室長から以下のご講演を頂きました

①平成22年度予算概算要求

【骨子】まちづくり交付金国費1,300億円（前年比56%）
は市町村要望額を正確に反映

②行政刷新会議事業仕分け評価結果と今後の方向性

【骨子】一括交付金の議論に向けて市町村の意見も踏まえ検討

③「都市整備をめぐる大きな曲がり角」

【骨子】新たな課題の登場



3. 意見交換会

国土交通省都市・地域整備局の樺島都市計画課長に来賓のご挨拶を頂いた後に、参加者による活発な意見交換が行われました。



§ 平成 21 年度プロジェクト説明会（小杉駅周辺地区）を開催

平成 21 年度プロジェクト説明会を去る 11 月 20 日（金）に、神奈川県川崎市の NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの会議室をお借りして開催しました。当日はお忙しい中、約 40 名の方々にお越し頂きました。

今回は、川崎市まちづくり局のご協力を得て、小杉駅周辺のまちづくりに関する状況や計画などについて、パワーポイントと資料を使用し、説明に際しては、①新駅開業、②再開発事業、③エリアマネジメントの 3 部構成とし、それぞれの担当者の方から詳しい内容の説明をいただきました。

平成 22 年春に開業を目指す横須賀線武蔵小杉新駅の計画概要では、工事状況や連絡通路、新駅関連施設である交通広場や駐輪場など、開発動向では、武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業などや民間開発事業の概要を、エリアマネジメントでは、NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの概要及び取り組み状況等に関して説明をいただきました。

【小杉駅周辺地区の位置づけ】

川崎市の中央部に位置し、JR 南武線及び東急東横線・目黒線が交差する交通結節点で、平成 17 年 3 月に策定された新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」では、都市の拠点機能を整備するため「民間活力を活かした魅力ある広域拠点の掲載を図る」地区として、川崎駅周辺地区及び新百合ヶ丘駅周辺地区とともに重点的にまちづくりを進める地区として位置づけられている。

【まちづくりの基本コンセプト】

「交流」と「にぎわい」があふれるヒューマンなまちづくり

〈歩いて楽しいまち〉：人の活動が見えるまち・地元のまちとの連続性確保・沿道型の商業空間

〈環境共生型のまち〉：緑豊かな環境の実現・環境負荷の軽減・周辺自然的環境との調和

〈豊かに暮らせるまち〉：多様な市民生活の実現・新旧住民相互の融合・エリアマネジメントの推進

【NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの概要】

小杉駅周辺地域の住民を対象に、まちづくりに関する事業を行い広く公益に寄与することを目的として平成 19 年 3 月 20 日に設立されました。まちづくりを目的とする NPO 法人としては第 1 号。





§ 第 21 回技術研究発表会及び第 16 回交流展示会の開催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 (UIT)

高度で豊かな都市社会の構築を目指す「アーバンインフラ・テクノロジー推進会議」では、その実現に寄与するための諸事業の一つとして第 21 回技術研究発表会を 11 月 12 日に丸ビルで、第 16 回交流展示会を 11 月 9 日から 11 月 15 日まで行幸地下通路において、「地域に活力を与えるまちづくり技術」をテーマとして開催いたしました。

開会式では、当推進会議伊藤 滋会長並びに黒川 洸展示委員長の挨拶に続いて、来賓を代表して松谷 春敏国土交通省都市・地域整備局技術審議官よりご挨拶を頂きました。

技術研究発表会では、「環境・エネルギー」「情報・交通」「まちづくり (ハード)」「まちづくり (ソフト)」の 4 分野に分けて計 36 編の論文発表を行いました。

その後は、今回初めての試みとなりますが、昨年 7 月 22 日並びに今年の 1 月 22 日に選定された環境モデル都市 13 都市のうち、北九州市、飯田市、横浜市の 3 都市にご協力いただき、発表を行っていただきました。

講演会では、菊池 雅彦国土交通省都市・地域整備局街路交通施設課企画専門官に「人と環境に優しい都市交通政策について」と題してご講演を頂きました。

閉会式では、高橋洋二論文審査委員長の講評に引き続き、優秀論文の表彰式を行いました。

意見交換会は長島俊夫技術交流部会長 (三菱地所 (株) 代表取締役専務執行役員) の挨拶により開会し、盛大に実施しました。

交流展示会は、行幸地下通路にて 15 団体の参加を頂き実施いたしました。

☆主な表彰論文 (優秀賞) については、以下のとおりです。

環境・エネルギー部門：JR 東日本コンサルタンツ (株) 林 寛子氏

環境発電「床発電システム」の開発

情報・交通部門：(株) 日建設計総合研究所 伊藤 慎兵氏

日本版ロードプライシングの試みと社会実験結果の報告

まちづくり (ハード) 部門：清水建設 (株) 阿曾 利光氏

従来の 3 倍の耐久性を実現した「長寿命化ビット」の開発

まちづくり (ソフト) 部門：富山市 金山 英樹氏

JR 高山本線活性化社会実験と沿線のまちづくり

上記のほか、奨励賞として 5 編が表彰されました。

詳細は後日 UIT ホームページに掲載予定です。<http://www.uit.gr.jp/>



伊藤会長



黒川委員長



松谷技術審議官



講演会



講評



表彰式



意見交換会



§ 第3回首都圏都市基盤施設見学会の開催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 (UIT)

また、11月11日には都市みらい推進機構との合同で首都圏都市基盤施設整備見学会を開催しました。本年度第3回となる今回は、いま話題の東京スカイツリー®を東武鉄道(株)並びに東武タワースカイツリー(株)のご協力により実施しました。

当日はあいにくの雨の中、東京スカイツリーインフォプラザで押上・業平橋周辺地区の地区概要・土地区画整理事業概要・開発計画概要等について説明をいただいた後、遠景ながら実物を見学しました。

当日は上部の方を望めないか心配でしたが、午前中の雨も弱まり、なんとか最上部の方も見ることができました。



インフォプラザでの概要説明

【開発概要】東武鉄道(株)と東武タワースカイツリー(株)が実施する、東京都墨田区業平橋・押上地区において東京スカイツリーを核とした多機能複合型の開発プロジェクト。ライジング・イースト・プロジェクトと名付けられ、約6.4haにおける土地区画整理事業は、平成23年度完了予定。北側は東武伊勢崎線・南側は北十間川に挟まれた地域。

【スカイツリー概要】

- ・最高高さ 634m (当日は 200m を越えていました)
- ・施設の内容

展望施設 (第1展望台 350m、第2展望台 450m)、放送施設、店舗、レストラン等

- ・事業主体 東武タワースカイツリー株式会社
- ・開発スケジュール

2008 (平成 20) 年 7 月 着工

2011 (平成 23) 年 12 月 竣工 (予定)

2012 (平成 24) 年 春 開業 (予定)



スカイツリー上部



スカイツリー下部

完成予想図



(株) 東武鉄道・東武タワースカイツリー(株) 提供

東京スカイツリー最高高さについて

プロジェクト当初は「約610m」でしたが、当初から自立式電波塔世界一を検討しており、世界各地で高層建築物が計画、建設されているなかで、自立式電波塔として高さ世界一を目指し検討を重ねた結果、634mに決定。

中国広東省広州市で今年末に完成予定のテレビ塔が610mで、カナダ・トロントのCNタワー(553m)を抜いて、電波塔としては世界一の高さとなる予定。

東京スカイツリーは五重塔の心柱制振など古来の技を日本の最新技術で再現。

- ・印象に残る数字

高さ数字を決定するにあたっては、覚えやすい数字にしたいと考え、日本人にとってなじみ深い言葉である「634=むさし」に決定したそうです。



§ 機構の活動状況

日	11月	日	12月
1	中央区まるごとミュージアム「木更津河岸復活」開催	2	東京都市大学と意見交換
4	群馬県上野村意見交換	7	まち交講習会(九州)
9	木更津市企画部意見交換	7	群馬県上野村意見交換
10	まち交講習会(四国)	15～	まちづくり交付金コーディネーター往訪支援
14	木更津市「地方の元気再生事業」舟の森を訪ねて-開催		
16	まち交講習会(九州)		
19	歌舞伎町一丁目東地区まちづくり協議会会長と意見交換		
20	武蔵小杉周辺地区プロジェクト説明会		
25	まち交講習会(近畿)		
26	まち交講習会(関東)		
27	まち交講習会(北海道)		
27	平成21年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会		
30	まち交講習会(北陸)		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

4	八重洲・京橋・日本橋分科会(中央区)	9	八重洲・京橋・日本橋地区WG会
12	地下街耐震調査(名古屋、小田原他)	10	大阪分科会
17～23	ACUUS2009国際会議(中国深圳)		
30	地下利活用制度整備分科会		
30	地下研懇話会		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

9～15	第16回交流展示会		
11	第3回首都圏都市基盤施設整備見学会		
12	第21回技術研究発表会		

《まちづくり情報交流協議会》

4～5	まちづくり情報交流協議会全国秋季研修会(別府)		
-----	-------------------------	--	--

※11月号掲載記事に関するお詫びと訂正

11月号掲載記事の中に誤りがありました。関係者の方々にご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

正) 越谷レイクタウン
誤) 春日部レイクタウン
掲載箇所) P1、P13

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他